

第2章 交通環境調査結果

自動車から一酸化炭素、炭化水素、窒素酸化物、粒子状物質（ディーゼル黒煙）等の大気汚染物質が排出されるが、県下でも、交通量が年々増加してきており、幹線道路沿線地域等で自動車排出ガスによる大気汚染が懸念される。

このため、大気環境監視の一環として、県下の主要交差点において、大気汚染移動測定車により自動車排出ガスの汚染状況調査を行っている。

〈調査地点・期間〉

調査地点：別府市、佐伯市、津久見市、日出町の計4地点

調査期間：平成18年6月～平成18年11月

※各地点とも連続する1週間について調査を行っている。



	調査地点名	調査期間
①	堀交差点（日出町）	平成18年 6月 5日～ 6月13日
②	永石通り交差点（別府市）	平成18年 7月28日～ 8月 4日
③	中町交差点（津久見市）	平成18年 9月27日～10月 3日
④	大手前交差点（佐伯市）	平成18年11月 9日～11月16日

〈調査項目・調査方法〉

- 二酸化硫黄 : 自動測定機（紫外線蛍光法）により測定
- 一酸化炭素 : 自動測定機（非分散赤外線吸収法）により測定
- 窒素酸化物 : 自動測定機（オゾンを用いる化学発光法）により測定
- 浮遊粒子状物質 : 自動測定機（β線吸収法）により測定

〈調査結果〉

測定結果について、表2-2に示す。

二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質のいずれにおいても環境規
準の超過はなかった。

なお、津久見市中町交差点の浮遊粒子状物質及び佐伯市大手前交差点の二酸化硫黄
は、機器の故障により欠測となっている。

表2-2 測定結果

調査地点	調査期間	一酸化炭素			一酸化窒素		二酸化窒素		二酸化硫黄		浮遊粒子状物質		風向	風速	
		日平均値	8時間値	1時間値	日平均値	1時間値	日平均値	1時間値	日平均値	1時間値	日平均値	1時間値	1時間値	日平均値	1時間値
		最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最頻風向	最高値	最高値
		最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	その割合	最低値	最低値
		平均値	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値	CALM割合	平均値	平均値	
		ppm			ppb		ppb		ppb		μg/m ³		%	m/s	
堀交差点 (日出町)	6月5日	1.4	1.6	2.0	26	85	23	37	6	18	62	88	SSE	1.4	2.7
	～	1.1	0.9	0.4	11	4	13	5	1	1	25	11	11	0.7	0.2
	6月13日	1.2	1.2	1.2	21	21	19	19	4	4	45	47	12	0.9	0.9
永石通り交差点 (別府市)	7月28日	1.8	1.9	2.3	33	76	19	33	4	9	40	60	SSE	1.3	2.5
	～	1.6	1.5	1.4	20	8	14	6	3	1	28	11	39	1.1	0.2
	8月4日	1.7	1.7	1.7	27	27	17	17	3	3	34	34	5	1.2	1.2
中町交差点 (津久見市)	9月27日	2.5	2.7	3.2	24	79	23	46	3	10	**	**	NW	1.5	2.6
	～	2.1	2.0	0.6	7	1	12	4	1	0	**	**	25	0.9	0.2
	10月3日	2.3	2.3	2.2	14	14	18	17	2	2	**	**	3	1.2	1.3
大手前交差点 (佐伯市)	11月9日	2.3	2.7	3.4	20	74	16	43	**	**	26	59	WSW	1.1	2.5
	～	2.0	1.5	0.7	9	0	13	2	**	**	17	4	19	0.9	0.2
	11月16日	2.2	2.1	2.0	13	14	14	15	**	**	22	20	7	1.0	1.0
環境基準 (参考)		日平均値が10ppm以下、 かつ、8時間平均値が30ppm以下			—		日平均値が40ppb から60ppbまでの ゾーン内又はそれ 以下		日平均値が40ppb 以下、 かつ、1時間値が 100ppb以下		日平均値が100μg /m ³ 以下、 かつ、1時間値が 200μg/m ³ 以下		—	—	